

# あいむ柏崎

— 女と男 共につくる希望の未来 —

令和7(2025)年10月3日

第13号

発行 | かしわざき  
男女共同参画推進市民会議

★「あいむ」とは…市民会議の愛称で、「愛」「自分自身」+「歩む」で「好きな自分のまま前に進もう」を意味しています。

寄稿



## 言葉の選択が大事!? 意識を言葉で確認しよう～無意識から意識化へ～

新潟産業大学 学長 <sup>うめひら</sup>梅比良 <sup>まさし</sup>眞史 さん

この夏に「メディア・リテラシーと男女共同参画」というテーマでかしわざき市民大学講座の講師を務めました。その中で人権の歴史に触れ、フランス革命時の人権宣言(1789)を取り上げました。

フランス語では、Déclaration [宣言] des Droits [権利] de l'Homme et du Citoyen [人および市民の権利の宣言]ですが、この下線を引いた2つの単語はそれぞれ、homme [人間、男性]とcitoyen [市民]という意味で、hommeは英語のmanと同じ意味構造をもつ男性名詞で、人間という意味でも男性という意味でも使われます。citoyenも名詞の男性形です。

当時の女性が社会的に差別されている状況の中で、これは男性のみの人権と読めることを取り上げて、オランブ・ド・グージュという社会活動家が「これは男性の人権であって、女性は埒外に置かれている」と鋭く切り込み、1791年に『女性の権利宣言』Déclaration des Droits de la Femme [女性] et de la Citoyenne [女性市民] [女性および女性市民の権利宣言]を作りました。女性の権利を求めるこのcitoyenneはcitoyenの女性形であり、「女性性」を強調しているようにも見えますが、これは日本語の女優、女流、女将などと似ていて、あえて性を区別する意識を醸成するものかもしれません。

現代でも、言葉の端々に、私たちのアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)が、男女共同参画社会の未来へと続く道に立ちはだかっています。意識を表すのは言葉ですから、女性と男性とが社会において、様々な活動に共に参加できるよう言葉を選びたいと思っています。私を含め、男性はそれこそ無意識に男性の優位性を容認する言葉には注意しなければならないでしょう。

またフランス語では職業の名称でも、auteur「作家」、avocat「弁護士(弁護士ではありませんが)」、chef「料理長・組織の長や指導者的な地位も指す」、docteur「医者」、écrivain「作家」、ingénieur「エンジニア」、médecin「医者」、professeur「教師」などはふつう男性形しかありません。しかし、必要などときには、auteure「女性の作家」、avocate「女性の弁護士」やfemme médecin「女医」のように表記します。

こうした職業を示す言葉が使われ始めたときには、女性の医師や弁護士がいなかった事由によるのかもしれませんが、フランス語では男女同権を意識すると、語の使用法が複雑なものになります。

フランス語に比べて日本語は、男女の区別のない用語を使うことはそれほど困難ではないでしょう。しかし、絶えず無意識を意識化して、これからは医師や弁護士といえ男性を無意識にイメージすることのない時代が来ることを切に願っています。



令和7(2025)年7月23日かしわざき市民大学「メディア・リテラシーと男女共同参画」について講義

# 公開講演会 『昭和100年 実例でみるハラスメントの変遷』

令和7(2025)年5月17日(土) 午後2時30分～4時 会場/市役所 多目的室

講師/柏崎しおかぜ法律事務所 弁護士 近藤 千鶴さん

令和7(2025)年度かしわざき男女共同参画推進市民会議定期総会の後、恒例の公開講演会を開催した。昨年度に続き、柏崎しおかぜ法律事務所の近藤千鶴弁護士を講師にお招きし、44人の参加者の中には、企業から研修目的で参加した方もいた。

今年、昭和でいうと「昭和100年」に当たることもあって、演題は『昭和100年 実例でみるハラスメントの変遷』である。概念としては、ハラスメントはいけないことと分かってはいる。しかし、実例によれば被害者、加害者、傍観者になる可能性があることが分かった。例えば、「髪、切った？」と尋ねる。これは、「あなたのことをちゃんと見ていますよ。」というコミュニケーションのつもりで、私自身良いことだという思い込みがあった。しかし、このようなことが、ハラスメントを招く要因になるというのだ。

では、どのような話題でコミュニケーションを取ればいいのか。相手の人権、場の雰囲気や考えることが大切で、「怪しいな」というときは言わない方がよいようだ。被害者となった場合はためらわずに声を上げていこう。良い気づきの場となった。時勢に合った講演会は、男女共同参画推進のために改めて必要だと思える良い機会となった。

(市民会議企画運営委員/押見)





## ～ぱぱだつて～ お父さんと作ろう ちらし寿司



令和7(2025)年2月23日(日) 会場/市民プラザ 料理実習室

笹川隆司さん(ささ川)を講師にお迎えし、ちらし寿司作りに12組(応募23組)の父子が挑みました。まず始めに、基本となる卵焼きからお手並み拝見とスタートし、お次は難関となる海鮮具材の切り分けです。どの父子も相談しながら調理を進めた結果、見事においしそうなおちらし寿司が完成しました。

参加された方からは、「恥ずかしながら初めての調理なんです。これからの時代を見据えて参加しました。レポートリーの数うんぬんかんぬんより、まずは、基本となる『卵焼き』を何度も練習します。」また、「ひな祭りには、家族のためにちらし寿司を作りたい。」など、多くの感想をいただき、和やかな講座となりました。

(市民会議企画運営委員/大掛)



# 私たちは柏崎の 「ハッピー・パートナー企業」です



新潟県では、男女が共に働きやすく、仕事と家庭等の両立、女性従業員の育成や登用などに積極的に取り組む企業を「ハッピー・パートナー企業」として支援しています。

柏崎市ホームページ  
ハッピー・パートナー  
企業募集



## 「働き方・プライド・技術のバランス」 株式会社 竹内電設 茨目1-1-6

昭和26(1951)年の創業以来、私たちは地域に深く根ざし、「安全・安心な電気設備と暮らしを守る」ことを使命としてまいりました。今日、電気はあらゆる環境に不可欠な存在となり、電気工事は産業と生活を支える重要なインフラです。当社の技術者たちは、関わる全ての設備を「マイプラント」と捉え、強い責任感を持って業務に励んでいます。

「建設業は大変」というイメージを払拭するため、近年ではDX化を推進し、新時代の働き方である「建設ディレクター」を導入しました。徹底した業務効率化とチームでの現場管理をルール化することで、属人化や残業を削減し、社員が家族と過ごす時間を大切にできる環境づくりに真剣に取り組んでいます。コミュニケーションの良さが当社の自慢ですが、ここ5年間は若者の離職はゼロです。

また、女性が技術者や建設ディレクターとして第一線で活躍できるよう、資格取得や新たな挑戦を全面的に支援しています。女性専用の更衣室を新設するなど、性別に関係なく誰もが快適に働ける環境を整備しました。

これからも柏崎で働き、暮らす仲間とその家族を大切にしながら、地域と共に明るい未来を創造してまいります。



代表取締役社長  
竹内 一公さん

## 親子わんだーランド 生き・活き・子育て!

令和7(2025)年7月27日(日) 会場/市民プラザ 海のホール

今年も市民プラザにおいて恒例の「親子わんだーランド 生き・活き・子育て!」を開催しました。猛暑にもかかわらず、約270人の方からご来場いただきました。

工作や体験、絵本読み聞かせ、むし歯予防、子育て支援情報コーナーなどのブースを設けることで、多くの親子が笑顔で交流し、賑やかで楽しいひとときとなりました。今年新たに絵本読み聞かせの際の手話通訳や、プチ手話講座を取り入れ、より多くの方に楽しんでいただけたことは嬉しい限りです。

会場全体が熱気に包まれている中、皆さんが元気いっぱいにご覧される姿に力をもらいました。アンケートでいただいたたくさんの声を、男女共同参画促進のために活用させていただきます。

ご参加、ご協力くださった多くの皆さん、本当にありがとうございました。

(市民会議企画運営委員/野澤)



# 柏崎の女性史

## 健やかな成長を願って 背守り・紐飾り

乳幼児の生存率が低かった時代、その命を守るために様々な工夫がなされました。子どもの着物に施された刺繍もそのひとつです。

一つ身の着物の背の上部中央に糸でつける飾り縫いを背守りといいます。背後から悪いものが入り込むのを防ぎ、幼い魂が背筋から脱げるのを守るためのお守りと考えられました。飾り縫いにはカギ型と文様の2種類があり、文様は松や扇、折り鶴など縁起のよい図柄が選ばれました。布切れを縫いつけるだけのものもあれば、中にお守りを縫いつけるもの、押絵を縫いつけるものなど背守りの種類は様々にありました。

また、着物の両前襟つけについている付け紐のつけ根に施す飾り縫いを紐飾りといいます。小さい子どもは帯が使えないため、着物の前がはだけないように付け紐を結びます。着物をしめることで、脱けやすい子どもの魂を落ち着かせるためでもありました。

背守りも紐飾りも華やかな装飾に見えますが、どちらも魔除けの力があると信じられていました。丹念に施された一針一針には、子どもの健やかな成長への願いが込められていたのです。



(左) 背守り〔カギ型〕 (中) 紐飾り〔兜〕 (右) 紐飾り〔菱型〕  
柏崎市立博物館蔵

(協力/ 柏崎市立博物館 早川 美奈子さん)

### 柏崎市立博物館秋季企画展のご案内

「子どもの着物ーひと針に願いを込めてー」

令和7(2025)年10月18日(土)

～11月24日(月・振替休日)

### 若者や女性は「わかっている企業」を選んでいきます!

新潟県は令和7(2025)年4月から「新潟県多様で柔軟な働き方・女性活躍実践企業認定制度」を創設しました。これにより「ハッピー・パートナー企業登録制度」は令和8(2026)年3月末日をもって終了します。

- 「働きやすさ」を見える化するこの制度が注目されています!
- 人手不足を背景に、若者や女性に「選ばれる」企業となるために、働きやすい職場環境づくりの重要性がこれまで以上に増しています。
- 認定を受けることで、採用活動の強化や、企業イメージの向上にもつながります。

この制度を活用し、あなたの会社の魅力をさらに高め、若者や女性にアピールしてみませんか。



※詳しくは県のホームページを →  
ご覧ください。



(柏崎市人権啓発・男女共同参画室)

### あとかき

夏になると「暑いですね」が最初の言葉になり、猛暑となる柏崎ですが、特に今年は、梅雨の時期があったのかと思われるほどでした。

「親子わんだーランド」は、親子でゆっくり、安心して遊べるそんな場を提供したいという思いで開催してきました。今年も多くの方から参加していただきました。ゆっくり楽しんでいただけたら、関わった私たちも嬉しいです。

コロナ禍の後、各地域では今まで行っていた行事がなくなってきていると聞きます。それは、少子高齢化が進んでいるせいでしょうか。

行事やイベントで、人と人が関わることで、安全で生き生きとした地域ができるのではと思う今日この頃です。

(市民会議会長/品田信子)

### こちらからご覧いただけます

ー 柏崎市ホームページ

市民会議  
会員募集



あいむ柏崎  
バックナンバー



あいむ柏崎 第13号 令和7(2025)年10月3日発行

発行：かしわざき男女共同参画推進市民会議 事務局：柏崎市総合企画部 人権啓発・男女共同参画室

〒945-8511 柏崎市日石町2番1号 ☎ 0257-20-7605 FAX 0257-22-5904 E-mail: danjo@city.kashiwazaki.lg.jp

印刷：株式会社小田